

令和 5 年 4 月

会 員 各 位

一般社団法人東京建設業協会

「令和 5 年度 全建 技術研究発表会 事例募集」について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の事業運営に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、(一社)全国建設業協会では、建設技術者の技術力向上を目的として、建設工事の施工現場における生産性や品質の向上、環境対策・安全の確保等に資する様々な工夫・改善事例および、新技術の開発・活用事例を広く募集しており、当協会に対して周知依頼がありました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、対象となる事例がございましたら是非ご応募くださいますよう、お願い申し上げます。

記

添付資料

- ・ 令和 5 年度 全建 技術研究発表会 事例募集について
- ・ 募集要項
- ・ 応募書類（様式－1）
- ・ 応募書類（様式－1）入力例
- ・ 応募書類（様式－2）
- ・ 応募書類（様式－2）入力例

※募集要項、応募書類等は、全建 HP 内の以下サイトからもダウンロードできます。

【全建 HP NEWS（2022/04/03）】

(<https://www.zenken-net.or.jp/news/230403/>)

＜ 応募書類提出先・お問い合わせ先 ＞
(一社)全国建設業協会 事業部 川瀬・八重樫
TEL : 03-3551-9396
E-mail : jigyo@zenken-net.or.jp

以 上

令和5年度 全建 技術研究発表会 事例募集について

～令和5年4月3日(月)から受付開始！～

全国建設業協会では、建設技術者の技術力向上を目的とした、建設工事の施工現場における生産性や品質の向上や、環境対策・安全の確保等に資する様々な工夫・改善事例および、新技術の開発・活用事例を広く募集します。

なお、応募いただいた事例のうち、選考の結果、「優良事例」として選定された事例については、「全建 技術研究発表会 事例集」として本会HPに掲載します。

また、特に優れた事例(10事例程度)については、「優秀事例」として、11月22日(水)に開催する「技術研究発表会」にて発表をしていただき、表彰をします。

(※令和5年度より、応募時の技術区分をもとに、「高度技術部門」および「創意工夫部門」の2部門において、最優秀賞を選定する予定としています)



●事例掲載（本会ホームページ）



●令和4年度技術研究発表会

【社員教育のご担当者様へ】

応募書類の作成は、限られたスペースにポイントを取りまとめ、第三者へ趣旨を伝える必要があるため、文章能力の向上、また作成した応募書類を使用して社内発表を行うなど、プレゼンテーション能力向上にも役立ちます。社員教育の一環として取り組まれている会員企業もありますので、是非、この機会にご検討のほどよろしくお願いします。

詳細は裏面をご覧ください⇒



一般社団法人 全国建設業協会

【応募対象者】：各都道府県建設業協会所属の会員企業

【募集内容】：◆技術区分（以下の技術部門別に事例を募集し、選考を実施します）

I. 高度技術部門

先進的な高度技術の活用により、施工における生産性・品質の向上や、環境対策・安全の確保等に資する事例（ICT施工、BIM/CIMの活用や新技術の開発・採用等）

II. 創意工夫部門

既存技術に対して、身近な創意工夫により施工における生産性・品質の向上や、環境対策・安全の確保等に資する事例（大きな費用を必要とせずとも、効果を有する施工上の工夫等）

◆工事区分（上記の技術区分に加えて、以下の3分野に工事を区分）

I. 土木分野 II. 建築分野 III. 環境・その他分野

【募集期間】：令和5年4月3日(月) ～ 令和5年6月30日(金)

【応募方法】：応募書類（様式－1、－2）を、本会宛にメール（jigyo@zenken-net.or.jp）で提出してください。

○所属協会にて取りまとめている場合は、各都道府県建設業協会へ提出して下さい。

○本会では、会員企業の参考となる事例については、広く周知したいと考えており、他の技術発表会等に応募した事例についても受け付けております。

○応募詳細は、募集要項をご確認ください。募集要項・応募書類については、本会ホームページからダウンロードできます。

（<https://www.zenken-net.or.jp/news/230403/>）

【選考基準】：本会の事例選考委員会において、「着眼点・独創性」「有効性・効果」「導入しやすさ・汎用性」の項目で評価します。

技術研究発表会では、上記の選考項目に加え、「発表資料の出来映え」「プレゼンテーション能力」について評価し、【最優秀賞（高度技術部門）および【最優秀賞（創意工夫部門）】を選定する予定です。

【過去事例】：本会ホームページの会員専用コンテンツからご覧いただけます。会員登録がお済みでない場合は、新規登録（無料）が必要ですが、各都道府県建設業協会の会員企業の方であれば、どなたでも登録が可能です。

（<https://www.zenken-net.or.jp/>）

【問い合わせ先】

（一社）全国建設業協会 事業部

担 当：川瀬（かわせ）・八重樫（やえがし）

T E L：03-3551-9396 F A X：03-3555-3218

e-mail：jigyo@zenken-net.or.jp

令和5年度 全建 技術研究発表会 事例募集（募集要項）

1. 目的

建設技術者の技術力向上を目的とし、施工における生産性・品質の向上や、環境対策・安全の確保等に資する様々な工夫・改善事例および、新技術の開発・活用事例を広く募集する。優れた事例について「技術研究発表会」での発表を通じて、技術者のプレゼンテーション能力の向上を図るとともに、全建ホームページやマスコミ等を通じて広く会員企業に情報発信するもの。

2. 応募対象者

各都道府県建設業協会所属の会員企業

（※幅広く事例を募集したいので、1社あたりの応募数は最大10件までとします。）

3. 募集内容

3-1. 技術区分

以下の技術部門別に事例を募集し、選考を実施します。

I. 高度技術部門

先進的な高度技術の活用により、施工における生産性・品質の向上や、環境対策・安全の確保等に資する事例（ICT施工、BIM/CIMの活用や新技術の開発・採用等）

II. 創意工夫部門

既存の技術に対して、身近な創意工夫により、施工における生産性・品質の向上や、環境対策・安全の確保等に資する事例（大きな費用を必要とせずとも、効果を有する施工上の工夫等）

（※本会による審査の過程で、技術区分の変更が望ましいと判断する事例については、個別で相談をさせていただく場合があります）

3-2. 工事区分

上記の技術区分に加えて、以下の3分野に工事を区分します。

I. 土木分野

II. 建築分野

会員企業が施工した土木若しくは建築工事で

①生産性の向上（省力化・合理化・工期短縮・i-Construction(BIM/CIM含む)の取組等）
やコスト縮減等に寄与した事例

②品質向上、安全対策等①以外の技術的なアイデア・工夫により各種改善が得られた事例

III. 環境・その他分野

③建設廃棄物の適正処理、3R、周辺環境配慮など環境に関する事例

④社会資本の長寿命化、魅力的なまちづくり等のプロジェクトにおいて、地域建設業と

- しての技術力・知見等を積極的に提案した事例（会員企業が複数の企業、他業種、行政機関等（地方整備局、自治体、商工会議所等）と連携した事例についても応募できます）
- ⑤その他、上記①～④に属さない事例（働き方改革の推進による職場環境の整備等）

※過去の事例は、本会ホームページ（<https://www.zenken-net.or.jp/>）の会員専用画面からご覧いただけます。会員登録がお済みでない場合は、新規登録（無料）が必要です。各都道府県建設業協会の会員企業の方であれば、どなたでも登録していただくことができます。

4. 応募方法

- ①応募書類（様式－1、－2）を全国建設業協会へメールで提出してください。
- なお、各都道府県建設業協会にて取りまとめている場合は、各都道府県建設業協会を通じて提出してください。
- ②応募書類が10MBを超える場合には、大容量ファイル転送サービス等で送付してください。
- ③応募書類の書式はフォントサイズ10.5ポイント以上で、MS明朝とします。
- ④様式－2は、原則3～5ページとします。また、応募内容を分かりやすくするため本文中に図表や写真等を挿入してください。
- ⑤本会では、会員企業の参考となる事例は、広く周知したいと考えておりますので、他の技術発表会等（整備局、県等）に応募した事例についても受け付けております。
- ※応募書類等は、本会ホームページ（<https://www.zenken-net.or.jp/news/230403/>）からダウンロードができます。

5. 応募締切

令和5年6月30日（金）

6. スケジュール

【9月中旬】

- ・建設工事事例選考委員会において、本会会員専用ホームページへ掲載する優良事例を選定します。
- ・優良事例の中から技術研究発表会で発表いただく優秀事例（10事例程度）を選定します。

【10月上旬】

- ・選考結果を、各都道府県建設業協会に連絡いたします。
- ・優秀事例に選定された事例のご担当者には、技術研究発表会で発表するための準備を依頼します。

【11月22日(水)】

- ・技術研究発表会を開催し、優秀事例に選定された事例のご担当者に発表いただきます。
- ・技術研究発表会への参加者（発表者・聴講者）には、CPDSユニット又は建築CPD情報提供制度における単位を取得できるよう、それぞれの学習プログラムに登録する予定です。

7. 選考基準について

- ・9月中旬に実施予定の建設工事事例選考委員会での選考は、「着眼点・独創性」「有効性・効果」「導入しやすさ・汎用性」の項目で評価します。

- ・技術研究発表会では、上記の選考項目に加え、「発表資料の出来映え」「プレゼンテーション能力」について評価し、技術部門別に【最優秀賞（高度技術部門）】および【最優秀賞（創意工夫部門）】を選定する予定です。

8. 本会ホームページへの掲載

- ・優良事例の本会会員専用ホームページへの掲載は、様式-2を使用します。
- ・発注者名、施工者名、工事名、施工場所等を掲載しますので、発注者への承諾が必要な場合は、恐れ入りますが、あらかじめ応募者側で承諾の手続きをお願いします。

- ・ホームページに掲載後、全国土木施工管理技士会連合会継続学習制度（CPDS）に申請をすると、10ユニットが付与される可能性があります。

【申請要件】

新規性があり、構成が①はじめに（工事概要を含む）②現場における問題点③対応策・改善点と適用結果④おわりに（今後の留意点）等で、図（写真含む）・表及び文章（1600文字程度以上）であること。

※本会所定の様式をご使用いただくと上記要件の構成要件は満たすことができます。

（記入例も併せてご確認ください。）

※詳細については、全国土木施工管理技士会連合会(<https://www.ejcm.or.jp/about-cpds/>)ホームページのCPDSガイドラインをご確認下さい。

9. その他注意事項

- ・応募の際に提出いただいた書類は返却いたしません。
- ・いただいた応募書類については、各都道府県建設業協会及びその会員企業へ紹介・情報共有する以外の目的には使用いたしません。
- ・特許権等、他社に帰属するものは応募不可とします。但し、自社で特許権を保有するものは応募可とします。
- ・必要に応じ、別途資料等の提出をお願いする場合があります。

【応募書類等提出先】

（一社）全国建設業協会 事業部

担当：川瀬（かわせ）・八重樫（やえがし）

T E L：03-3551-9396

e-mail：jigyo@zenken-net.or.jp

令和5年度 全建 技術研究発表会事例

応募締切：令和5年6月30日（金） ※エクセルデータのままご提出ください

送 付 先：一般社団法人全国建設業協会 事業部

e-mail : jigyo@zenken-net.or.jp

所属協会	(選択してください)
------	------------

技術区分	(選択してください)
工事区分	(選択してください)

分類	【土木】 1. 施工管理： ☐ 安全 ☐ 工程 ☐ 品質 ☐ 原価 ☐ 環境(近隣対策・イメージアップ含む) ☐ その他() 2. 工種 : ☐ 土工 ☐ 基礎工 ☐ 仮設工 ☐ 本体工 ☐ その他()
	【建築】 1. 施工管理： ☐ 安全 ☐ 工程 ☐ 品質 ☐ 原価 ☐ 近隣対策 ☐ その他() 2. 工種 : ☐ 仮設 ☐ 躯体 ☐ 仕上げ ☐ 外構 ☐ その他 3. 目的 : ☐ 環境対応技術 ☐ 地震対策技術 ☐ リニューアル技術 ☐ その他()
	【環境・その他】 ☐ 温室効果ガス発生抑制対策 ☐ 3R対策 ☐ 生物多様性保全 ☐ 周辺環境への対策(騒音等) ☐ 過去の事例の応用 ☐ その他()

※分類は、該当分野の中から、項目を選び☑を入れてください。（同一分野より複数選択可）

事例タイトル	
技術・工夫の概要	
効果	

※タイトルは、応募内容（事例内容）が分かるように付けてください。

※技術・工夫の概要および効果は、技術内容とその効果を簡潔に、分かりやすく記入してください。

○担当者情報

（ふりがな） 氏名	
所属会社	
所属部署	
役職	
住所	〒
電話番号（半角数字） 例）012-345-6789	
電子メールアドレス （半角英数字）	

※電話番号・FAX番号は、令和5年11月末まで連絡が取れる番号をご記入ください。

個人情報の取扱について：応募いただきました個人に関する情報は、事例の取りまとめに関するもの（別途資料の提出依頼、出来上がった事例集の報告等）以外には使用いたしません。

令和5年度 全建 技術研究発表会事例

応募締切：令和5年6月30日（金） ※エクセルデータのままご提出ください
 送 付 先：一般社団法人全国建設業協会 事業部
 e-mail：jigyo@zenken-net.or.jp

所属協会	東京	技術区分	創意工夫部門
		工事区分	土木

分類	【土木】 1. 施工管理：□安全 □工程 □品質 □原価 □環境（近隣対策・イメージアップ含む） □その他（ ） 2. 工種 ：□土工 □基礎工 □仮設工 □本体工 □その他（ ）
	【建築】 1. 施工管理：□安全 □工程 □品質 □原価 □近隣対策 □その他（ ） 2. 工種 ：□仮設 □躯体 □仕上げ □外構 □その他 3. 目的 ：□環境対応技術 □地震対策技術 □リニューアル技術 □その他（ ）
	【環境・その他】 □温室効果ガス発生抑制対策 □3R対策 □生物多様性保全 □周辺環境への対策（騒音等） □過去の事例の応用 □その他（ ）

※分類は、該当分野の中から、項目を選び☑を入れてください。（同一分野より複数選択可）

論文タイトル	〇〇〇の●●による△△の改善事例
技術・工夫の概要	橋脚コンクリート打設時における△△に要する作業時間を〇〇〇の●●による技術を活用し、作業効率の向上を図った。
効果	●●の活用により、安全性を確保したうえで、作業効率が約20%向上した。

※タイトルは、応募内容（事例内容）が分かるように付けてください。

※技術・工夫の概要および効果は、技術内容とその効果を簡潔に、分かりやすく記入してください。

○担当者情報

（ふりがな）	どぼく たろう
氏名	土木 太郎
所属会社	土建組株式会社
所属部署	土木部
役職	課長
住所	〒〇〇〇-□□□□ 東京都△△区××1-1-1
電話番号（半角数字） 例）012-345-6789	03-〇〇〇〇-××××
電子メールアドレス （半角英数字）	doboku@zenken-net.or.jp

※電話番号・FAX番号は、令和5年11月末まで連絡が取れる番号をご記入ください。

個人情報の取扱について：応募いただきました個人に関する情報は、事例の取りまとめに関するもの（別途資料の提出依頼、出来上がった事例集の報告等）以外には使用いたしません。

事例タイトル

会 社 名		(協 会)	
部署・役職・氏名			
工事概要 または 事業概要	発注機関		元請 下請
	工事名称 または提案事業名称		
	工事場所 または提案事業場所 (市区町村まで)		
	工 期		
	工事内容 または事業内容		
(ご応募の際は下記※の文章を削除してください。) ※内容については、できる限り詳細にご記入ください。 ※記載ページ数は原則3～5ページといたします。 ※書式はフォントサイズ10.5ポイント以上、MS 明朝でお願いします。 ※図表・写真等は、本文中に挿入してください。			

事例タイトル

[illegible]

3. 工夫・改善の内容

A grid of 5 rows and 30 columns of dots. The first row has the first five dots replaced by circles. The last dot in the fifth row is a small open circle.

图表

4. 施工後の効果

凶表

写真

5. まとめ（今後の課題など）

A 10x10 dot grid. The first row of five dots is highlighted in black, while the remaining 95 dots are small black dots.